

【平成 25 年度 JICA 中国 第 1 回 国際理解教育研修会】

平成 25 年 6 月 23 日(日)

○ 講 師： 神原 一之氏（広島大学附属東雲中学校）

濱長 真紀（広島市 JICA デスク）

石倉 さやか(JICA 中国市民参加協力調整員)

○ 参加者： 31 名

○ 会 場： JICA 中国国際センター(306 研修室、ブリーフィングオリエンテーションルーム、セミナールーム 1&2)

テーマ

教育現場における国際理解教育の実践方法「日本と世界のつながり」

研修の目的(通年)

- 1)「国際理解教育」について、JICAが提供可能なリソース(JICAボランティア経験者及び JICA の開発教育支援プログラムの利用者等)及び学校現場での活用法を紹介する。
- 2)「国際理解教育」(その中でも異文化理解・地球規模の課題等の分野)に取り組まれている方々を講師に迎え、1つのテーマにそって実践例を紹介するとともに、教員同士の意見交換の場を提供する。
- 3)「国際理解教育」を実践する上での有効な学習手法である「参加型学習」について、その特徴や授業に取り込める簡単な手法、教材等を紹介するとともに、学校教育の中で参加型学習をどのように位置付け、活用していくか考える。

時間	内 容／詳細		担当者	備 考
【午前の部】306 研修室				
09:30-10:00	30min.	受付		受付は 1 階ロビー ※シャトルバス運行 9:30 西条駅発
10:00-10:10	10min.	開会 ・はじめのあいさつ ・国際理解教育研修会の位置づけ ・JICA 中国開発教育支援事業について	課長 梯職員	
10:10-11:45	95min.	「自分の生活を見つめ、世界とつながる私たち」 海外と日本の学校をどのようにつないでいくか、 どのように子どもたちに海外での知見を還元するか、事例講演。	講師：神原一之氏(広島大学附属 東雲中学校 副校長)	※80min.発表、15min.質疑応答
11:45-12:45	60min.	昼食 ※希望者のみ、休憩時間は民族衣装・楽器体験		JICA 食堂「ラコルト」利用者は 600 円
【午後の部】セミナールーム 1&2 に集合、その後ブリーフィングオリエンテーションルーム使用				
12:45-13:00	15min.	アイスブレイキング 「なんでも！フルーツバスケット」	濱長真紀(広島市 JICA デスク)	・途上国とのつながりを感じられる質問をすることでワークショップへの導入とする。
13:00-14:30	90min.	実践のコツを学ぶ！ワークショップ体験 異文化理解ワークショップ「BAFABAFA(バファバファ)」	ファシリテーター :濱長真紀(広島市 JICA デスク) サブファシリテーター :大井聡美(岡山県 JICA デスク) :伊藤理香(島根県 JICA デスク)	
14:30-14:45	15min.	休憩 & 移動		
14:45-15:45	60min.	全体振り返り 「世界とつながる私たち」	進行：石倉さやか (JICA 中国市民参加協力調整員)	
15:45-16:00	15min.	閉 会 アンケート記入/事務連絡		※シャトルバス運行 16:15JICA 発